

# 生分解性マルチ(コーンマルチII)の効果確認試験

JAおとふけ

吉田 邦浩



左:慣行区 右:試験区 6月28日撮影



左:慣行区 右:試験区 6月28日撮影



試験区 8月5日撮影



慣行区 8月5日撮影



左:慣行区 右:試験区 11月16日撮影

<b>試験目的</b>	生分解性マルチの効果確認					
<b>試験作物及び品種</b>	南瓜(あまほく) ※ホクレン「りょうおもい」として販売					
<b>試験資材及び数量(規格)</b>	コーンマルチII(0.015mm×135cm×400m) 黒 1本					
<b>慣行資材</b>	カエルーチ					
<b>栽培方法</b>	<table border="1"> <tr> <td>定植日</td> <td>5月14日~15日</td> </tr> <tr> <td>収穫日</td> <td>9月上旬</td> </tr> </table> <p>【栽植密度】 畝幅：350cm 株間：80cm</p>	定植日	5月14日~15日	収穫日	9月上旬	
定植日	5月14日~15日					
収穫日	9月上旬					
<b>資材使用期間</b>	5月14日~10月20日	<b>試験区面積</b> 2反				

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品と比べて伸び縮みするため、展張作業がしやすく良かった。

鋤き込み作業についても問題はなく、差は感じられなかった。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品より薄いとのことだが、特に差は感じられなかった。

今年は天候不順により通常より1ヵ月も収穫が遅れてしまった。

### (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

ここまでの分解速度に差は感じられないが、来春に改めて分解状況を確認したい。

### (4)保温効果について

特に差は感じられなかった。

### (5)雑草・病害虫の発生について

特に差は感じられなかった。

## モニター感想

マルチ展張時に伸び縮みするため、とても張りやすかった。

風の強い日でも問題なく展張作業ができるし、畑に密着するように張れるのも良い。

薄肉品ではあったが、生育・強度等についても慣行品と特に差は感じられなかった。

価格が慣行品と変わらないのであればまた使用し

たい。

## JA担当者の感想(生産資材課 村上 氏)

生産者から展張しやすかったと評価が高く、その他生育等にも差は見られなかった。

使用上の問題はなさそうなので、価格が慣行品より安価であれば取り扱いを検討したい。

生産者モニター制度は新資材等を試すのに良い制度なので、できれば来年以降も別の資材で試験を行い、組合員への新商品提案等につなげていきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

慣行品と価格が変わらないのであれば使用したい。

## 将来希望する資材について

現在の道産南瓜は冬至の頃までしか出荷できないため、端境期に出荷できるような技術(品種・包装・貯蔵等)が何かあれば消費者のニーズに応えられると思う。

1 高温対策

2 青虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリンテート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他